

編集後記

今回は、下水道の再構築事業と非開削技術の優位性、第3弾だ。

さて、下水道の機能を将来にわたり担保する基幹施設は、都市域から発生する下水を円滑に収集する“下水道管路”と、集めた下水を適正に処理し、その過程から資源やエネルギーを創出、回収する処理場だ。両者の健全な機能が永続的に保たれてこそ、下水道再構築の成就と言える。

だが、この両者、新設の場と再構築の場では、置かれる立場、住民・市民との力関係が逆転する。おわかりであろうか。しかし、そのことが、下水道再構築、殊に、下水道管路施設の再構築において、最大の障壁となる危険性がある。それを最小限のリスクで乗り切るための手法が「非開削技術」、なかでも「推進技術」や「管路更生技術」となるはずだ。

両者で何が違うか、まずは処理場。ある都市で下水道事業を着手するにあたり、首長の最大の悩み、苦悩の種は、どこに処理場を持っていくかだ。所詮、下水道は地域からの下水を自然流下方式で集めることが基本だから、市街地の最下流部、しかも現状の土地利用状況から取得面積が確保できる個所が適地となる。したがって、その選択肢はさほど多くないはずだ。だからと言って、下水処

理場建設候補地となった地区では、隣接する地域住民はあらゆる手段を通じ、猛烈に建設反対を叫ぶはずだ。それを抑えるには、事業者側に相当な時間、努力、忍耐、知恵が必要だ。往々にして、地元への土産費用も用意しなければならない。一度、それが決着したとしても、処理場建設時はもちろん、供用開始以後も周辺住民に対する細心の配慮は続く。

だが、時の流れは、人の感情を宥めるものだ。ましてや、処理場在りきを前提に移り住む住民や世代交代が進めば、処理場の存在自体、地域に溶け込んでゆく。隣接住民は処理場が目に見えても、日常の風景、無意識下だ。鉄製フェンスと植栽で囲われた処理場敷地内で、どんな事業が進行し、どんな工事がなされていようと、周辺住民にとっては良い意味での無関心事項だ。ならばこそ、下水道事業者は、自らの裁量と財源を基に、自ら定めた目標と手段をもって処理施設再構築事業に取り組めるはずだ。処理場の塀の中は、正に、事業者の一人舞台だ。好きな自由演技ができる。

一方、下水道管路はどうだ。通常、下水道管路は付近の住民や多くの車両が往来する街中の道路の下にある。もちろん、誰もが自由に出入りする

オープンな空間だ。下水道事業者は、そこで限られた空間ではあるが外部の人々の立ち入りを制限し、下水道管路の敷設工事を行わなければならない。住民とは至近距離であり、住民は工事に起因する直接的、あるいは間接的影響を直に受ける。当然、そこには苦情や厳しい抗議も出てこよう。

でも、新設の場合にはそこにも福音がある。それは、住民にとって我が家に初めて下水道がやってくることだ。これで、汲み取りトイレからの解放、年寄りや子供に優しい洋式トイレへの変更、洗浄機能付き便座の使用の可能だ。仮に、以前より戸別浄化槽であっても、その管理の煩わしさから解放される。その期待感から、短期間、下水道工事による多少の不便、苛立ちも忍耐の範囲に収まろう。なかには、工事現場の横を通り過ぎる住民から、工事関係者に「ご苦勞様」の声も聞けるかもしれない。だが、下水管路の再構築工事の場合はどうだ。住民にとって、利便性の向上は一切無し。迷惑千万。苦情、抗議の標的。だったら、事業者側はどうしたらよいか。話はつづく。

〈編集委員長 石川和秀〉

No-Dig Today

No.97 2016 Oct. 平成28年10月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：安中徳二

印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。
○購読料(税込み)

1冊 1,620円(本体1,500円)〒400円
1ヵ年(4冊)6,480円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会で選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2016 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。